



「実」(みのり)という問いを残して…

自分たちにとって「実(みのり)」とは何だろう。私たちの学校生活の達成は、何をもって「実(みのり)」と言えるのだろうか。そうした「問い」を持ち続けていくこと～その意味を、昇降口に残った大木のモニュメントが教えてくれているような気がします。

第56回南牧祭が行われ、生徒会を中心に様々な工夫をしながら、多くの活動が行われました。当日は真っ青な秋の晴天が広がり、大変すがすがしい陽気に恵まれました。2日間、自分たちの学習の成果を存分に発揮し、仲間に向けて、そしてご参観いただいた多くの保護者・地域の皆さんに向けてお伝えすることができました。生徒の皆さんの活躍の様子が、それぞれの学年通信でも伝えられていました。

思えばコロナ禍にあって、この2年間は、こうした当たり前のことが十分にできない悔しさを残して、卒業していった先輩も多かったことでしょう。普段の学校生活で行っている感染症対策を施しながら、無事文化祭を実行できて、本当に良かったですね。

*

みなさんは、今回の南牧祭を通して、明快なたった一つの答えを共有したわけではないでしょう。自分たちにとって「実」とはなんだろう。その答え探しは、これからまだまだ続くはずです。



中庭の花壇も、秋じまいの季節を迎えました。

3年生の三井さんのデザインを再現した花の配置を真上から見たらどんな風に見えたのでしょうか。

こちらがその写真です。

(撮影:副島征史朗先生)



《デザインに込めた思い》

生徒会テーマを大きくかいて強調し、ニコちゃんマークをかいてサブタイトルにある笑顔を表しました。赤、黄、オレンジで日が当たっているのをあらわし、「明日も来るのが楽しみになる学校」に添うようにしました。

3-A 三井みわ さん

普段作り上げてきている生徒会活動を土台にした、この学習発表の場「南牧祭」は、みなさんにとって大きく成長する場となりましたね。「実～壁の向こうの笑顔へ～」私たちはこれからも、この問いを大事に持ち続けていきましょう。

最後に、生徒の体調管理やお弁当の用意等、多くのサポートをしてくださった保護者の皆様、あたたかく生徒の活動を見守ってくださり、当日も学校においでくださった地域の皆様に感謝を申し上げます。有難うございました。

文化・芸術の秋～音楽鑑賞教室が開かれました



その曲がもっている雰囲気というものがある。それを表すことができるというのは、すごいことだと感じました。
(3年 大村さん)

今まで自分たちも合唱に取り組んできたからこそ、強弱の付け方で、これだけ曲の雰囲気がつけられるということがあらためてわかりました。
(3年 木村さん)

中間テストも終わり、ほっと一息をついた10月12日、合唱団「東京カンマーコア」の皆さんが南牧中学校にいらしてくださいました。圧倒的な声量による豊かな表現力で、1時間があっという間でした。

「中学生のみんなが手拍子をしてくれて本当に嬉しかったです。有難うございました。」と、帰り際に女性の団員の方が話しかけてくださいました。また左は、感想発表をしてくれた、3年生の言葉です。音楽を通して演奏家の方々と心通わすことができた嬉しい瞬間がいくつもありました。

なお、今回の演奏会の鑑賞料金は、南牧村より全額補助していただきました。有難い機会をいただきました。感謝申し上げます。

筑波山麓男声合唱団の歌声をもう一度聞きたい人は、Youtube にアクセスし「東京カンマーコア」で検索してみましょう。きっと見つかりますよ😊。

おしらせ



①左の眼鏡とケースは文化祭後に見つかった落とし物です。保管してありますので、お心当たりのある方はご連絡ください。

②次のページからの資料は、部活動地域移行の取り組み『中学生が「やりたいスポーツ・文化活動」に参加できる環境づくり』のお知らせです。先日のPTA 評議員会の折にお話しさせていただきました。今後の取り組みの方向につきましてご承知おきください。保護者・地域の皆様のご意見がありましたら、引き続きお聞かせください。

③10/11 より、夜間・休日の留守番電話対応が始まりました。詳しくは、10/4 の教育委員会からの通知をご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

文責：目黒 哲朗

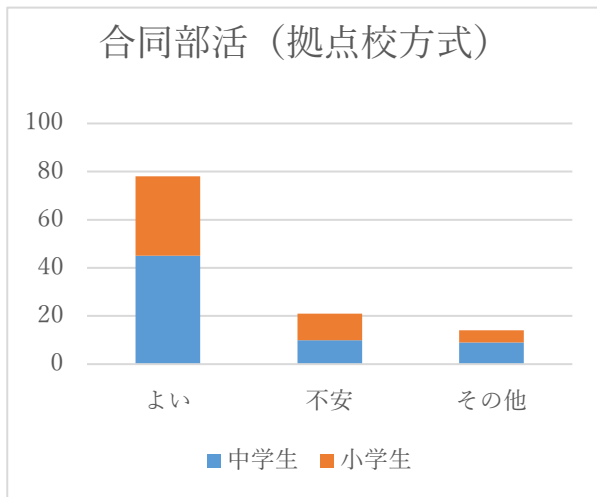
中学生が「やりたいスポーツ・文化活動」に参加できる環境づくり

～子どもたちが主役の、子どもたち自身のための持続可能なスポーツ文化活動を目指して～

今後の部活動のあり方を検討するにあたり、当事者である子どもたちの思いを知るために、南牧中学校の全生徒と南牧北小学校・南小学校両校の5・6年生を対象にして、アンケート調査を7月末に実施しました。その結果と今後の推進についてお知らせします。

1. アンケート集計結果より（理由については抜粋）

○「近くの中学校が集まって部活動と一緒にすることについて、どう思いますか」。(小・中)



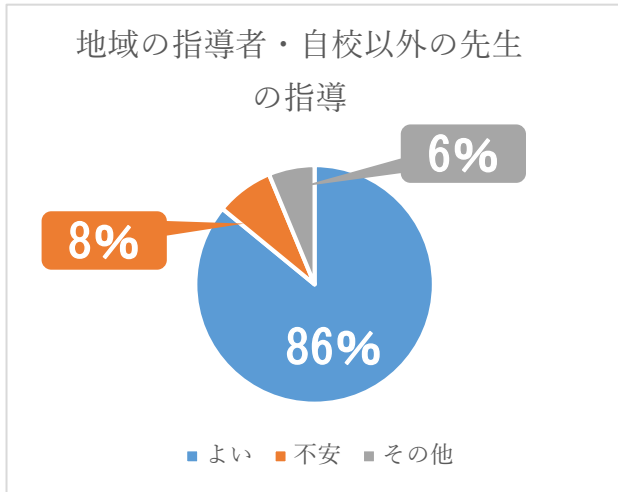
「よい」理由（小学生：選択式・中学生：記述式）

- ・いろいろな人と一緒に練習できる（小学生：70%）
- ・希望する部活ができる（小学生：21%）
- ・コミュニケーション能力向上と共に、技術も向上できる。
- ・交友関係が広がる。人数が多いほど協力できる。楽しい。試合に出られる。
- ・南牧中学校だけでは限界があり、出来なかった部活もできる

「不安」「その他」理由（小学生：選択式）

- ・他の学校の人と仲良くできるか、不安（小学生：68%）
- ・お金（道具や移動）や時間がかかりそう（小学生：32%）
- ・仲良くなれるか、ついていけるか。なじめなかったら楽しくない。やったことがないから不安。移動が大変そう。

○「地域の指導者や他校の先生に教えてもらうことについてどう思いますか」。(中のみ)



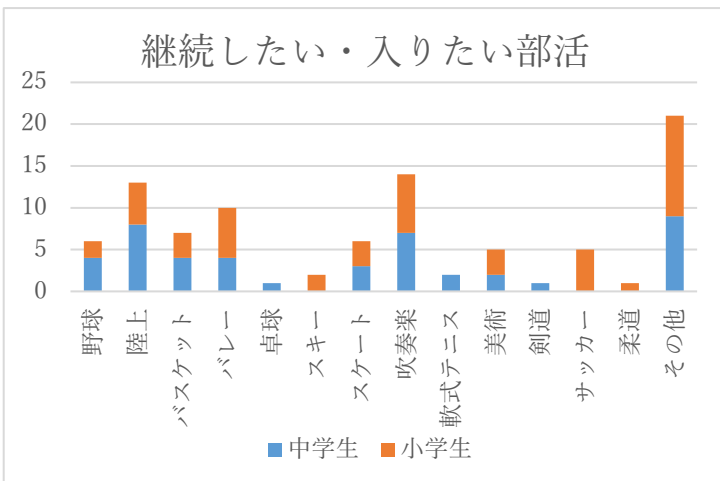
「よい」の理由（中学生：記述式）

- ・専門の指導が受けられる。技術が向上する。
- ・地域の人へ感謝の気持ちを表せるし、支えられていることが実感できる。
- ・いろいろなやり方が学べる。

「不安」「その他」理由（中学生：記述式）

- ・自分の学校の先生だったら普通に聞けたりするけど、ほかの学校の先生になると聞きづらい。
- ・ずっと練習ばかりになりそう。
- ・知らないから。

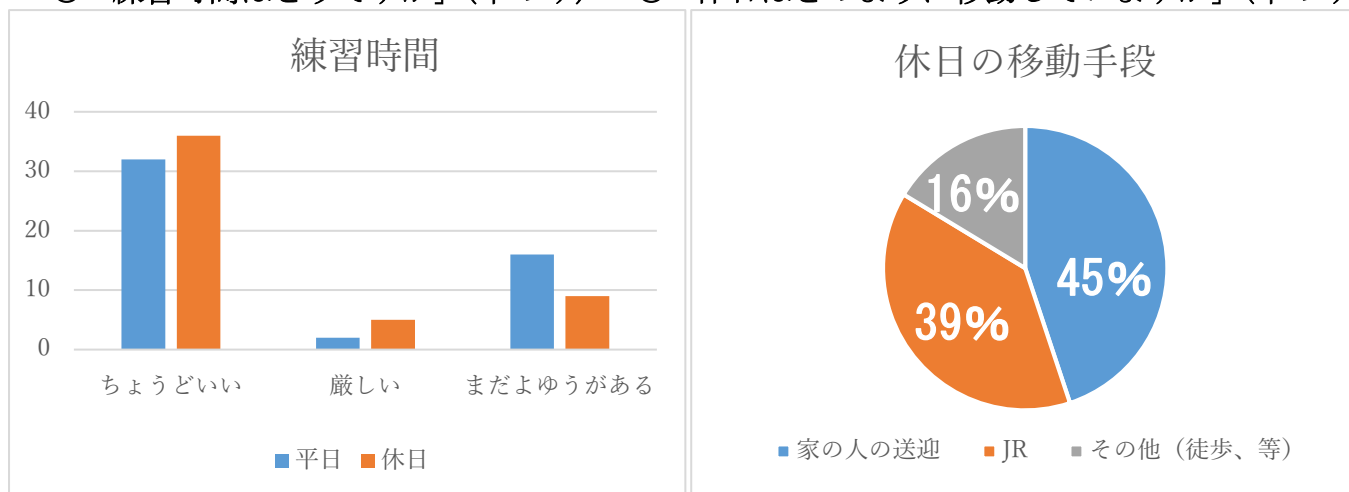
○「来年度（中学校に行ったら）継続したい・入りたい部活動は何ですか」。(小・中)



「その他」の回答

無回答、バドミントン、水泳、演劇、写真、帰宅部

○「練習時間はどうですか」(中のみ) ○「休日はどうのように移動していますか」(中のみ)



アンケート結果から

- (1) 南牧村の子どもたちは、中学校で「スポーツや文化活動に取り組みたい」と願いを持っていることが分かりました。さらに「近くの中学校や地域の指導者と一緒に活動して、お互いに高め合いたい」とも思っています。
- (2) 一方で「南牧中学校以外の友だちや指導者の方と仲良くできるか」「移動手段や時間が心配」と不安のあることが分かりました。他の学校や地域の指導者と一緒に活動するためには、不安を少なくする支援をする必要があります。
- (3) 生徒のやりたい活動を全て南牧中学校で準備することは難しいです。南牧村の社会体育を活用したり、休日は他校と合同練習したりすることで、活動を確保できそうです。しかし、平日の南牧中学校での活動を保証するためには、**複数の活動と一緒に練習できる仕組み(例：総合運動部、等)を作る必要があります**。また、国や県が進める令和5年度～7年度「休日における段階的な地域移行」に合わせて、**地域移行や拠点校方式(合同部活)について南佐久の中学校と一緒に考えていくことが大切になります**。

2. 今後の推進について

南牧中学校では、中学生が「やりたいスポーツ・文化活動」に参加できる環境づくりを目指して、以下のことを計画しました。

(1) 合同練習会の実施

「他校の生徒や地域の指導者と一緒に活動する体験会」を、新人戦終了後に南佐久郡内の中学校と合同で行います。全ての部活動では行えませんが、自分が所属している部活動以外の活動にも参加できるように考えています。詳しい内容や申込書は後日配付します。

(2) 第2回部活動運営委員会の開催

持続可能なスポーツ文化活動を目指して、保護者や地域の皆様と一緒に考える第2回の部活動運営委員会には、小学校の保護者の皆様にも参加を呼びかけて行います。11月下旬～12月の実施を予定しています。日時等が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

部活動にかかわる皆様の思いや考えは、いつでも学校にお寄せください。子どもたちが主役の、子どもたち自身のための持続可能なスポーツ文化活動を作っていくために、お力添えをお願いします。